

臨床研究・調査の概要

研究課題名	ATC/DDD system 並びに DOT を用いた多施設抗菌薬サーベイランス
研究の概要	<p>【研究の目的・意義】</p> <p>厚生労働省は 2016 年 4 月に薬剤耐性対策アクションプランを示し、抗菌薬の使用量を 2013 年水準の 2/3、緑膿菌のカルバペネム耐性率を 10%以下等の目標値を掲げている。抗菌薬使用量および薬剤耐性菌サーベイランスは、個々の医療機関のみならず、地域間、全国規模でも行われている。今回、富山県病院薬剤師会感染制御研修委員会主動で、富山県の医療施設における抗菌薬の使用動向を調査し、抗菌薬使用量と薬剤耐性菌及び抗菌薬適正使用の取り組みとの関連について検討を行う。また、その結果を参加施設にフィードバックすることで、各施設における抗菌薬の適正使用への一助とすることを目的とする。</p> <p>【研究対象者】</p> <p>2019/1/1 から 2020/12/31 までの期間において、抗菌薬の投与を受けた患者、微生物検査検体が提出され、緑膿菌が検出された患者。</p> <p>【研究の方法】※研究期間を含めて記載</p> <p>当院の 2019/1/1 から 2020/12/31 までの期間における、注射用抗菌薬の年間 AUD、カルバペネム系抗菌薬の年間 DOT、緑膿菌のカルバペネム系抗菌薬及びタゾバクタム/ピペラシリンの年間耐性率を各部門システムより抽出したデータより求め、解析する。</p>
研究資料の入手・閲覧	<p>研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。</p> <p>研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください</p> <p style="text-align: center;">富山市民病院 診療科：感染防止対策室 役職：主査 氏名：加藤 由香里 TEL 076-422-1112（代表） FAX 076-422-1371 e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp</p>
個人情報の開示に係る手続	富山市個人情報保護条例に規定する手続きに従い、適切に対応いたします。
相談等への対応	研究対象者からの除外を希望される場合、その他当該研究に関する相談等については、関係資料の入手・閲覧と同じ連絡先にご連絡ください。